

IAUD Newsletter Vol.4 第10号 (2011年10月号) 目次

1. 活動報告：移動空間PJ「京急品川駅～羽田新国際空港ターミナルアクセス調査」・1
2. IAUD 11月の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

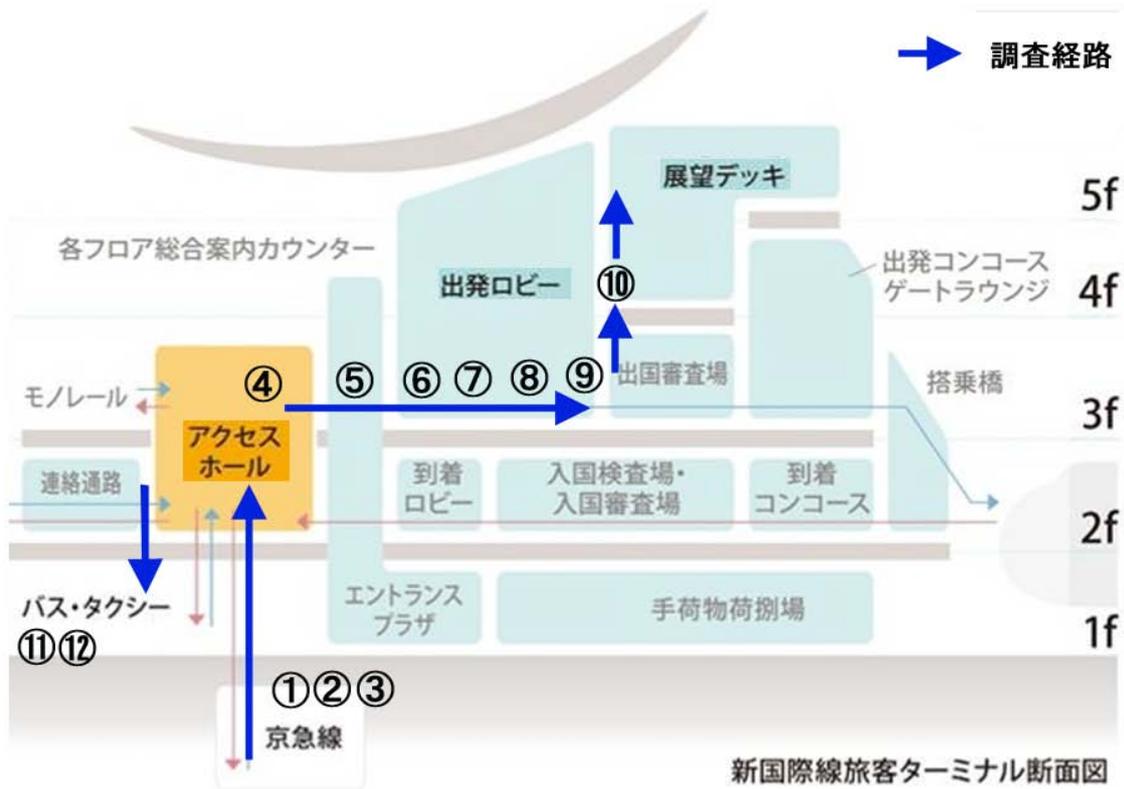
活動報告：移動空間PJ 「京急品川駅～羽田新国際空港ターミナルアクセス調査」



情報の継ぎ目の無い移動空間の実現という目標に向けて取り組みを進めている移動空間PJは、9月26日(月)に「京急品川駅～羽田新国際空港ターミナル乗換え調査」を実施した。

これは、最新のUD事例として羽田新国際空港ターミナルへのアクセスに着目し、これまで研究・試行してきた調査手法を用いて客観的に優れている点や改善点の把握を試みたもの。それにより、公共の移動空間のUDについてあるべき姿の考察を深め、今後の活動の参考にすることを目的としている。同PJの塩野主査に調査報告をしてもらった。

※これまでの移動空間PJ活動については、IAUD Newsletter 2009年12月号及び2010年5月号をご覧ください。



調査方法

経路：京急品川駅改札口→羽田空港新国際線ターミナル駅→3F フロアー出国ゲート→展望デッキ→バス乗り場
 モニター7名と調査者7名が2人1組になり、モニターの主観による評価を調査者がアンケートする。(プレ調査という位置付けの為、健常者・成人を中心に構成)

調査シート

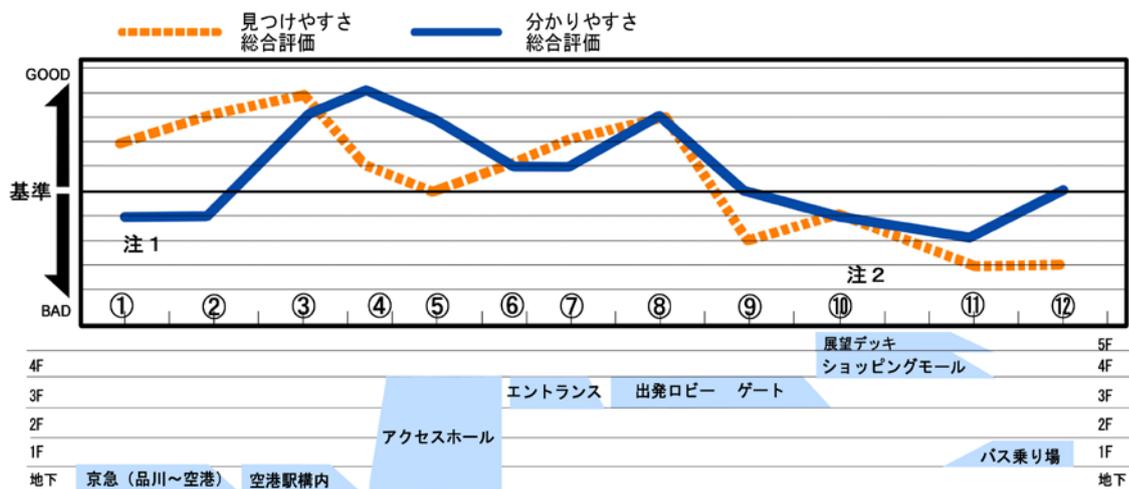
【羽田空港国際線ターミナル】UD調査		IAUD移動空間プロジェクト『移動情報UD調査シート』																
見送り組用		●ルートの選択 □A.エレベーター □B.エスカレーター □C.階段 □D.フリー																
		●調査日:2011年9月26日(月) ●調査時間: 11:00-12:00 ●天候: ●調査場所: 京急品川駅→羽田空港国際線ターミナル																
*「ロケーション」と「案内情報」に調査必要な項目を記入		※案内の手段を選択 1.地図 2.案内板 3.馬下り型 4.自立型 5.掲示板 6.起り紙 7.その他																
ロケーション	案内情報	案内の有無	案内の手段	案内の易しやすさ	設置場所	表示高さ	文字サイズ	色使い	視覚性	経路と移動のしやすさ	補助案内	外国語	点字情報	その他(自由記述)				
		有/無	有/無	優/良/悪	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無					
① 列車 ↓ 駅構内	降りる駅を確認する	有	4	2階行先	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	3	4		
	乗車を待つ	有	4	2階行先	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	3		
	改札口、連絡口に向かう	有	4	馬下り	4	4	4	3	1	4	3	1	4	4	2	2	1	3
④ 駅構内 ↓ 空港	国際線ターミナルへ行く	有	4	馬下り	4	4	4	4	4	4	1	1	1	1	2	3		
	出発ロビーへ行く	有	4	自立型	4	4	4	4	4	4	2	2	2	1	2	3		
⑥ 空港構内	フライト情報を確認する	有	4	掲示板	0	0	0	0	0	0	2	2	2	4	4			
	トイレを確認する	有	3	1地図	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	1	3	
	チェックインカウンターへ行く	有	4	1地図	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	3		
	出国手続を待つ	有	3	1	4自立型	3	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	
⑩ 展望デッキへ行く	展望デッキへ行く	有	4	1地図	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	3	3		
	バス乗り場へ行く	有	3	1	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3		
⑪ 空港 ↓ バス	バス乗り場へ行く	有	3	1	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3		
	自動券売機でチケットを買う	有	4	1	4	4	4	4	4	4	2	2	2	3	3	3		



下の表は、品川→羽田空港線ターミナルに於ける各タスクの評価を高評価（良い）、低評価（悪い）を元に N 数の総ポイント合計を算出し、被験者が各タスクに於いて見つけやすさ分かりやすさについてどのように感じたかをひと目で分かるようにグラフ化したもの。基準線より上が高評価、下が低評価になっている。

京急車内①②（図中：注 1）は見つけやすさ評価は高いが、分かりやすさの項目で低い評価ということが見て取れる。このように、グラフから場所やデザインに問題がありそうな箇所、逆に場所・デザインともに高評価な箇所も視覚的に把握することができ改善の為の足掛かりを得ることができる。

概ね各施設内の評価点は高かったが、施設と施設のつなぎ目に改善点がみつかった。
例：図中の注 2⑩出発ロビー3F→展望デッキ 5F への階層移動のエレベータ案内、⑪展望デッキ→⑫バス停、及び⑫バス券売機の見つけやすさ



調査からの気づき

ポジティブコメント：

- A. 入り口全体でデザインされたエレベータの案内表示がわかりやすい。
- B. 動線上にある吊り下げ表示が、次の行動を促してくれてわかりやすい。
- C. 出発と到着のサインが飛行機の離陸と着陸する絵で表現されていて、直感的にわかる。

A



○ 入り口全体でデザインされている

B



○ 次の行動を予測しやすい

C

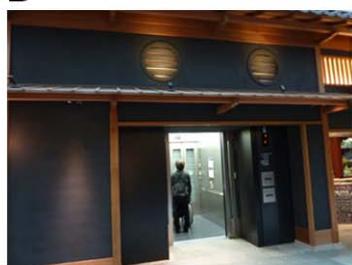


○ 直感的でわかりやすい

ネガティブコメント：

- D.4F 江戸小路から展望台へのエレベータが周囲の景観になじみすぎてわかりづらい。周囲との景観も大切だが、調和をさせすぎずにエレベータらしさをイメージしやすいもので良いのでは。
- E.フライト情報表示板が小さい自立型のため、一見どこにあるのか分らない。大きく頭上にあるという思い込みと違っており、近くにあるのに気づかない。
- F. バス券売機の購入ボタンが、実際の地理上の配置とずれて配置されていて感覚的にわかりづらい。

D



△ 調和しすぎてわかりづらい

E



△ 予想とちがう所にある

F



△ 実際の地理とちがう配置

調査から得た今後の課題

今回の調査では、各施設の移動情報案内は高いレベルで整備されており、個々の評価が良い結果となった。直感的で大きな絵ピクトを使用したグラフィックデザインや多言語表示など利用者にわかりやすい情報案内が施されていた。

また、エレベータ案内などのキーとなる施設は、建物の内装材等を含めた全体でデザインされていると、出発ゲートらしさやエレベータらしさが、一見してわかる記号性が感じられ、直感的な案内として有効であることがわかった。

さらに、「行動を促す」「利用者の特性・やりたいことを察する」「次を予測しやすい」など、利用者への単純な情報提供にとどまらない、能動的な情報提供やデザイン的な仕掛けが「分かりやすさ」「行動のしやすさ」につながるということがわかった。

一方、異なる事業者間での案内統一や券売機の UI が整備されていないなどの改善点も

見られた。

以上のような点に着目し、今後も実際の事例を整理・分析し具体的な提言に向けて活動
を続けて行きたいと考えている。(了)

IAUD 11月の予定

2日(水)	14時～	検定タスクフォース会合	(IAUD サロン)
4日(金)	15時～	メディアのUDPJ 定例会	(IAUD サロン)
8日(火)	16時～	情報交流センター会合	(IAUD サロン)
14日(月)	15時～	第4回研究部会会合	(IAUD サロン)
17日(木)	10時～	食のUDPJ 定例会	(IAUD サロン)
	13時～	第4回運営企画会議会合	(IAUD サロン)
	15時～	第4回実行委員会会合	(IAUD サロン)
18日(金)	14時～	労働環境PJ 定例会	(キヤノン株式会社)
24日(木)	15時～	第4回理事会会合	(株式会社リコー 本社)

メンバー募集中の研究部会・委員会はこちらにリンクしてください

↓

<http://www.iaud.net/news-f/archives/1106/21-114818.php>

次号は11月上旬発行予定

特集(予定):「48時間デザインマラソン in かなざわ」開催報告 他

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net